

備前市事務事業評価シート

事業の概要				
事業開始年度	平成9年度～		根拠法令・例規等	介護保険法
総合計画	大項目 基本構想	04 土台となる政策「安全・安心」	問合せ先	備前さつき苑事務部
	中項目 基本計画	06 誰もがいつまでも安心して暮らせるまち		
	小項目 施策	24 地域に密着した医療サービスの提供		
事務事業名	05 通所リハビリ運営事業	このシート作成に要した時間	6.0 時間	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	介護保険法に定めるところによる、65歳以上(第1号被保険者)または40歳以上(第2号被保険者)で要介護認定され、通所により当施設での介護サービスを希望される方。	
目的 (何のために)	利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るようにする。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	利用者が可能な限り、自立した日常生活を営むことが出来るようにする。	

事業の実績				Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	通所リハビリ運営事業	自宅まで送迎し、リハビリテーション・食事・入浴・レクリエーション等のサービスを行う	◎	

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業費	必要人員	人	20,858	23,654	10,633
財源	事業費	必要人員	人	7.70人	30,141	6.58人
	事業費	必要人員	人	30,141	27,001	8,30人
	事業費	必要人員	人	30,141	27,001	8,30人
	事業費	必要人員	人	30,141	27,001	8,30人
	事業費	必要人員	人	30,141	27,001	8,30人
財源	国	支出金	千円	47,819	47,731	42,620
	受	益者負担	千円	3,180	2,924	3,302
	繰	入金	千円			
受	益者負担	比率	%	6.2%	5.8%	7.2%
	結果指標名	単位		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績

結果指標	結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	結果指標	量	人	4,739	5,019	5,196
	対	前年比	%		105.9%	103.5%
	活動	コスト	円	50,999,000	50,655,000	45,921,623
単位	当たり	コスト	円	10,762	10,093	8,838

事業の成果		(平成25年度事業)				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
1日当たり利用者数(人/日)	目標値(A)	22.0	22.0	23.0	23.0	
	実績値(B)	19.4	20.5	21.3	到達目標値	
	達成率(B/A)	88.18%	93.18%	92.61%	25.0	
成果指標設定の考え方・式や説明						
意図とする成果の指標として、施設能力を十分に活かしているかを1日当たり通所利用者数でみる。 ○1日当たり利用者数(年間)＝年間延利用者数÷事業日数(H25年度＝5,196人÷244日＝21.3人/日) ※H22.10月から定員を増員(20人→30人)したため、目標値を増加している						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位の関与が適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業については積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	効率性の評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業については積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性の評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い		

進行年度(H24年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	H22年度の定員増に伴い、人的・設備的受入体制をさらに充実・整備したうえで、効率よく利用者の増加、増収を図る。					

総合評価		
少子高齢化に伴い、老人介護の必要性は今後ますます増大していくと思われる。そうした中、利用者により一層安心して利用してもらえるよう、サービスの充実を図ると共に、利用者の自立を促し、家族の負担を軽減できるよう、更なる努力をしていく必要がある。利用者は増加しているが、受入体制整備等経費増があり単位当たりコストが上がった。安定運営に伴いコスト減も図ることが可能であり、今後成果が期待できる。さらに利用者を増やしより有効な事業展開を目指し、受入体制等の充実が必要である。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	

平成26年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	利用者増対策の経過・推移を観察しながら、送迎等受入体制等を随時見直し経費の増加を抑えながら、効率的なサービス受給者の組み合わせを行うことにより利用者を増やし、コストの有効利用を図る。					



事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら